山口市立徳佐小学校　校長室だより　　ショウ　ガッ　コウ　（笑顔で　楽しく　考える）

徳佐笑楽考

ＮＯ１
令和3年4月16日
文責　山田英二

新学期が始まって２週間がたちました！

新学期が始まって２週間がたち、子どもたちも新しい学年で呼ばれることや、新しい担任の先生に慣れてきたころではないでしょうか。朝、校舎内を消毒しながら各教室の様子をのぞいてみると、どの子も先生の方をしっかり向いて話を聞き、落ち着いて学習に取り組んでいます。来週からは、学年はじめの懇談会（希望者）が始まります。短い時間ですが、有意義な時間になればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

さて、下に載せている「ほめ方 10 選」は、私が先生方に配付したもの（教職員向けの校長室便り）から抜粋した文書です。徳佐小では、今年度も子どもたちの自己肯定感や自信を育む取組を進めていきます。ご家庭でも、子どもたちの頑張りやよさをしっかり認め、ほめていただけたらと思います。それが子どもたちの心のエネルギーになります。

ほめ方 10 選

先生方は免許教習所にどんなイメージをおもちでしょうか。私は、厳しい教官など、あまりよいイメージとは言えません…。

昨年「ほめちぎる教習所のやる気の育て方」という本を読みました。三重県のある運転免許教習所が、ほめちぎる指導をしたことで、満足度がアップし、教習生の事故率が下がったり、受講者が増えたり等でその業績が上がったそうです。また、最初はこの指導方法に否定的だった教官側にもイライラが消え、表情も明るくなるなど、よい効果がたくさんあらわれたそうです。ほめられた側だけでなく、ほめる側にもよい効果があったそうです。その「ほめ方」を以下紹介します。

1	すぐほめ…その場ですぐほめる	6	プロほめ…もうプロレベルだよとほめる
2	最初ほめ…初対面の時にほめる	7	質問ほめ…いい質問だねとほめる
3	原因ほめ…原因を理解したことをほめる	8	第三者ほめ…第三者がほめていたと伝える
4	拡大ほめ…小さなことに目をつけほめる	9	つぶやきほめ…あえて抑えた言い方で伝える
5	比較ほめ…他と比較してほめる	１０	ほめきり…最後はほめて終わる

私たち日本人は長く培われた国民性なのか、褒めることが諸外国に比べ下手（苦手）だと言われています。また、私たち大人は「転ばぬ先の杖」という思考が働くためか、とかく子どもの長所より短所の方に目が向きがちです。上の１～１０の「〇〇ほめ」を、「〇〇だめ」のように反対に変えてみるとどうなるでしょうか。言われた側の自己肯定感が下がるのは間違いないでしょう。

この「ほめ方１０選」のいくつかは、これまで先生方も意識的にまた無意識にされているのではないかと思います。ただ「ほめる」といっても「やみくもにほめる」「おだて」「おべんちゃら」を言っても、子どもにも見透かされます。子どもの具体的な行為や考え方を価値づけ、子どもの心にもすっと入るように「ほめる」ことが大切だと考えます。

最後に先生方が教師になろうとされたきっかけの一つには「素敵な先生」との出会いがあったからではないでしょうか。多分、その先生はただ面白かった、授業がわかりやすかっただけではないはずです。きっと自分のよさを見つけ、認めるといった温かな「ほめ言葉」をかけてくださったのではないかと思います。私自身も、今、教師になっているのは、やはりある一人の先生との出会いがあったからです。そんな先生に自分もなれたらとこれまでやってきたつもりですが・・・。